

条例改正

職員勤務時間条例

問 職員の勤務時間短縮によって、町民サービスの低下はないか。また、その対策は。

総務課長 民間の状況を受けて国の改正があり、県でも4月から実施している中で、県内町村で足並みをそろえる形で午後5時15分閉庁の実施となった。(現在は午後5時30分)行政サービスの低下の無いよう、来年1月1日の施行に向け十分周知を図っていく。

保育所工事変更契約

問 今回の追加工事箇所は、当初に予測できなかったのか。

建設水道課長 金属工事や左官工事は、解体してみてわかったもので、今回の変更契約は、当初には見込めなかったものがほとんどである。



三ツ峠神鈴の滝 下流付近の眺望



完成間近の保育所を視察

9月定例・補正予算 賛成全員

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
一 般 会 計	5千250万円	19億1千833万円
国民健康保険特別会計	1千672万円	4億6千530万円
介護保険特別会計	246万円	2億4千215万円
簡易水道特別会計	656万円	7千252万円

補正予算の主な内容

一 般 会 計 補 正 予 算(第2号)	○保育所改修経費の追加 ○地域子育て創生事業経費の追加 ○農道水路維持補修経費の追加	2千721万円 350万円 352万円
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○一般被保険者高額療養費の追加	1千616万円
介護保険特別会計補正予算(第1号)	○国庫支出金等返還金の追加	183万円
簡易水道特別会計補正予算(第1号)	○町単配水管布設工事の追加	656万円

補正予算(歳入)の主な内容

一般会計 町民税	▲1千811万円	地方交付税	578万円
県補助金	1千350万円	繰越金	4千189万円
国民健康保険特別会計	繰越金	1千672万円	
介護保険特別会計	繰越金	183万円	
簡易水道特別会計	繰越金	465万円	



郷田和美議員

検証し、 総合計画を

問

第5次長期総合計画策定方針は

答

町民の多くが望む事業を選択

問 第4次長期総合計画の検証と、その結果に基づく第5次長期総合計画策定方針は。

町長 第4次計画は、7分

町野、合計43の具体的な施策を計画に盛り込み、実施に向けて取り組んできた。

主なものとして、「自然との共生づくり」における富士見散策路や倉見山登山道の整備、「コミュニティづくり」におけるふれあいサロンの建設と活用による地域内交流の促進、「育ち学ぶ環境づくり」における中学校校舎増改築、小中学校屋内運動場の建設、「活力づくり」におけるグリーンセンターの整備と活用、「ふるさとづくり」における

農道や農業用水路の整備、「都市づくり」における

ライフラインや公共施設の整備・更新、「参加と連携づくり」における中国

桂林市霊川県との友好都市協定締結やまちづくり

推進委員会の設置と、計画に掲げた施策の目的をほぼ達成、若しくは現在も継続中である。

一部の施策は未着手に終わったが、それは計画策定段階での位置付けが妥当であったかが最大の要因であり、第5次長期

総合計画に盛り込む事業についてはその反省を生かし、総花的な計画ではなく、町民の多くが望む

事業を取捨選択し策定する方針である。

今後、総合計画策定審

議会からの答申を尊重する中で、住民の価値観や

生活意識を認識し、西桂町に住んで良かったと心

から思えるようなまちづくりのための総合計画となるよう取り組む。

再問 総合計画における県道富士吉田西桂線の位置付けは。

町長 国道139号の渋滞緩和及び地域の活性化、また、交通安全対策、

及び災害対策道路として、広域連携の基軸となる最重要路線として計画に位置付けていく。



県道工事現地視察（上町区間）



日赤奉仕団による消火訓練

第4次長期総合計画をより良い

問

災害時要援護者対策は

答

整備マニュアルに基づき対応

問

災害時の高齢者や障害者、傷病者等の要援護者への支援体制のマニュアル作りや、地域の取り組みは大変重要な課題であるが、当町の現状は。

町長 災害時要援護者支援マニュアルは、西桂町地域防災計画等に基づき整備済みであり、75歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等を災害時要援護者と定め、災害時要援護者名簿も作成済みであり、災害発生時において、支援団体等へ公開し、安否確認及び避難誘導に活用する。

また、支援のための情報伝達・避難誘導・避難生活支援等に係る支援体制の確立に向けて、近隣関連機関と連携を取り、

問

コメ農家戸別所得補償制度への取り組みは

答

耕作放棄地の解消と一体的に実施

問

コメ農家戸別所得補償制度の活用方法について、現在進めている遊休農地解消事業との関連等も含めての対応は。

町長 自給率向上環境整備のため、主食用米の作付面積から、一律10aを差し引いた作付面積10a当たり、15千円が交付される事業の対象者は89名を予定し、自給率向上のため、水田から麦・大豆等への転作をした場合に交付される事業の対象者は17名を予定している。

また、農業委員会等の協力により遊休農地の解消が進んでいるが、耕作

問

取り組みは

耕作放棄地の解消と一体的に実施

問

可能となった農地を利用集積することで、当制度を多くの対象農家が利用できるようなるため、今後積極的に取組んでいく。

町長 町内の集落営農設立者の促進と、認定農業者に対する農地の有効活用について、今後の取り組みは。

町長 当町にも認定農業者の資質を十分備えた

方もいるため、集落営農組織の設立促進と、更なる充実に向けて育成に努める一方、関係機関の協力のもと学習農園を開催し、農業従事者の裾野を広げる等、農業施策を総合的に充実させる中で農地の幅広い有効活用に努めていく。



都市住民も参加して行われた学習農園

調査

三ツ峠グリーンセンターの運営状況は

結果 赤字解消のため、発生原因の分析を



そばの芽を栽培している施設

産業振興課長概要説明

利用者数は、ふれあい館の入浴で、2万9千424人と、前年度から3千696人減少、バーベキュー場で5千422人と、前年度から3千39人の増加等、全体で、8万3千736人の利用があり、2千38人の増加となった。

事業費は、収入の部で8千223万9千34円と前年度から793万7千436円の減少、支出の部で8千541万2千700円と、前年度から1千505万7千639円の減少となり、平成21年度決算もマイナス317万3千666円の赤字であるが、前年より712万2千03円減少している。

平成22年度は、総利用者数で8万9千84人を見込み、収入合計8千824万4千円、支出合計8千669万3千810円、差し引きで155万1千900円の黒字を見込んでいる。

問 平成21年度の総収入が減っている理由は。

産業振興課長 ふれあい館収入が、平成20年度はオープン直後ということ

で多くなっているが、平成21年度は8月に大きな団体のキャンセルがあり、1週間から10日間、空白になったこと等が原因である。

意見 8月の売上だけが原因とは思えないので評議委員会等で再度確認願う。平成21年度の決算も大幅な赤字になっているが、前年度の反省事項をきちんと確認願う。

産業振興課長 平成22年度は、正職員を2名ほど削減したこと、また、開館時間を午前7時から午前9時30分に変更し、人件費削減に努めていること、また、清掃、施設点検のための休館日を2日に変更するなどの工夫をし、改善を進めている。

意見 協定書の中で、決算等は報告義務や確認事項があるが、12月までに翌年度の事業計画を提出



グリーンセンターで行われたほたるまつり

するとか、毎月の管理業務を翌月の10日までに報告するといったものを遵守していただくように、細かく確認願う。

問 営業努力はされていると思うが、そばの芽事業は、赤字が大きいため、改善や見直しの考えは。

産業振興課長 指定管理者と協議し、様々な宣伝活動を行い、努力をしたが、利益がでなかった。今後は、雇用されている

方への配慮、また、取引先との調整も含めて、評議委員会等で協議していく。

意見 この件は何年も前から良くなるとの説明だが、上手くいっていないので、改善に努力願う。

意見 そばの芽に関しては、身障者を含めた町民の雇用もあり感謝しているが、赤字の解消には努力を願う。

一般質問のその後

追跡



あの質問はどうなったずら

平成20年3月定例会

質問

広域的道路体系整備について

国道139号の渋滞緩和は、長年にわたる町民の願いであるが、平成20年度は尾尻線側溝工事を実施とのことで、これまでの整備を十分有効活用した、次年度以降の取り組みは。

答弁

平成20年度町道尾尻線改良

平成21年度町道宮下中野線改良

国道139号の交通渋滞緩和は、極めて重要な課題であり、県からは、中長期的対策として県道富士吉田西桂線の整備、短期的対策として二市一町と共同で国道139号信号制御時間の検討が報告されている。

当町でも、広域的な道路体系の確立として、平成20年度には町道尾尻線の改良、平成21年度には町道宮下中野線の改良、平成22年度から平成25年度には小沼農道の拡幅を計画的に実施し、国道139号渋滞緩和並びに街中への通過交通を減少させ、町民の皆様が安全で安心して暮らせるよう努力する。

現状

主要事業計画に基づき

段階的に整備

国道139号の交通渋滞緩和については、山梨県が中心となり、山梨県・富士吉田市・都留市・西桂町で構成された「国道139号渋滞緩和対策連絡協議会」で作成した報告書に基づき、中長期的対策及び短期的対策の実施状況を県が関係機関と協議・調整し進めている。

町では、町道尾尻線及び町道宮下中野線の改良、小沼農道の拡幅を国道139号渋滞緩和対策事業として町の主要事業に位置付けるとともに、国からの交付金「道づくり交付金」の交付対象事業として国から認可を受け事業を実施している。平成20～22年度には町道尾尻線の拡幅改良、平成21・22年度には小沼農道

の拡幅を実施している。

これらの事業を主要事業における年次計画に基づき実施することで、国道139号の渋滞緩和を図り、このほかの道路整

備についても事業計画に沿って総合的に整備し、町民の皆様が安全で安心して暮らせるようなお一層努力していく。



拡幅され通行しやすくなった尾尻線

みんなの声

みんなの声

西桂町議会では、議会だよりを通じて町議会や町に望むこと、議会だよりを読んだ感想などを募集しています。

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。

議会構成がかわり益々の発展を祈願するばかりです。大いに期待しています。前号で投稿のグランドのトイレ設置についてさっそく実施していただき嬉しく思います。町の誠実さが伝わります。

早朝ウォーキングをしていると側溝にゴミがたまって溢れていることが度々あります。また、路上にも投げ捨てたと思われるゴミが散乱しています。

ひとりひとりがきれいな西桂町にするよう、心がけたいですね。

町民の義と仕度福祉の向上のため自ら力になり感謝致しております。(こうじ) 増々ご活躍下さいませ。お敬い致します。



町民グラウンドに設置されたトイレ

プレゼントクイズ

クイズ正解者のうち抽選で10名の方に、町の特産品をプレゼントします。

問題：医療費の増大により、危機的状況にある国民健康保険特別会計、平成21年度の保険給付費は、前年度に比べ何%伸びている？

- 答え：① 2.5%
② 12.5%
③ 22.5%

応募方法：①～③の答えの数字と住所、氏名、電話番号、議会だよりを読んだご意見ご感想を書いて、はがき、FAX、E-Mailにてご応募ください。

締切は11月26日（当日消印有効）です。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒403-0022 西桂町小沼1501-1
西桂町議会広報編集委員会
TEL 0555-25-2121 FAX 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp

写真募集中 採用された方には記念品を贈呈

同意
教育委員会委員の選任に
(全員同意)



郷田比呂子 委員

青少年育成 西桂町民会議

代表 渡辺光男さん

〔取材 渡辺正一・佐藤〕



青少年育成西桂町民会議の皆さんと

問 会員とその人数は。
渡辺さん 育成会や区長、民生委員等の各種団体の役員さんで総勢85名です。また、下暮地区では、子どもたちのためにと有志の方も参加しています。

問 活動内容は。
渡辺さん 声かけあいさつ運動や夏休み体験事業等を実施しています。

皆さん 今年の夏休みは、省庁職場見学や防災教室を実施しました。

問 今後の目標は。
渡辺さん 子どもの健全育成のため、同様の目的で活動している団体と連携をとって活動を強化していきたいです。

問 何か望むことは。
皆さん 今後開催する青少年育成の講演会等に、子育てに関わっている大人に積極的に参加していただきたいです。

あいさつ運動をしていて、大人が変われば子どもが変わることを強く感じます。大人同士でも積極的にあいさつができる町になってほしいです。



声かけあいさつ運動



夏休み防災教室

次の定例会は12月です。 傍聴してみませんか。



議会だよりや議会全般、町行政についてのご質問・ご意見・ご感想をお待ちしています。寄せられましたご質問・ご意見等には議会広報編集委員が責任を持ってお答えいたしますので、下記までお寄せください。

〒403-0022 西桂町議会広報編集委員会
TEL 0555-25-2121 FAX 0555-20-2015
E-Mail gikai@town.nishikatsura.yamanashi.jp



西桂 フォトギャラリー

夏休み省庁見学教室
(青少年育成西桂町民会議)



一面に広がるそばの花



小学校稲刈り



大月市議会だより編集委員会との意見交換会



傷みが激しいため、撤去となる竪穴式住居

- 編集委員長 宮下 友義
- 副委員長 相澤 力造
- 委員 渡辺 正一
- 委員 佐藤 勝男
- 委員 渡辺 隆

日ごとに秋も深まってまいりました。長く景気低迷の日本経済において、月例報告では、回復の兆しはあるものの、依然厳しい状態であるとされており、円高も進行し、景気の先行きは不透明であると思われまます。

さて、スポーツの秋。当町では、小中学校体育館が新しくなりました。町民の皆様が積極的に活用していただき、健康維持増進に役立て、地域のコミュニケーションの場にしっかりと、明るい町づくりに役立てていただければ幸いです。

議会にも多くの声をいただき、感謝しております。今後ともご意見をお寄せくださるようお願いいたします。

(佐藤)

